

【用語説明】

アルファベット順

ACP (Advance Care Planning)	終末期において起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。厚生労働省による愛称は「人生会議」
AST (Antimicrobial Stewardship Team)	感染症への治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと
CAPS (Child Abuse Prevention System)	児童虐待に対応する院内の複数の部門が、各々の視点から、児童虐待かどうか、通告等をすべきかどうかなどについて判断し、病院として通告や警察への連絡などを行う組織のこと
DMAT (Disaster Medical Assistance Team)	大規模災害や事故などの現場で急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ったチームのこと。専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）などで構成される。
ER (Emergency Room)	基本的に全ての救急患者に対応する救急初期診療のこと
ICT (Infection Control Team)	院内で起こる様々な感染症から患者・家族、職員の安全を守るために活動を行うチームのこと
t-PA (tissue-Plasminogen Activator)	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと

あいうえお順

アクシデント	医療事故のこと。医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故で、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合、患者が廊下で転倒するなど、医療行為とは直接関係しない場合、患者だけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合
--------	--

	を含む。
医療連携登録医	患者の病状にあった継続性のある医療を切れ目なく行うため、医療連携している地域の医療機関の医師（かかりつけ医）のこと
インシデント	医療事故に至る前に気付いたこと。患者に障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また、結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。
インフォームドコンセント	治療や臨床試験・治験の内容についてよく説明を受け十分理解した上で、対象者が自らの自由意志に基づいて医療従事者と方針において合意すること
開放型病床	診療所から紹介された入院患者を、病院の医師と診療所の医師と一緒に診療を行うことのできる病床のこと
冠動脈インターベンション	冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療のこと
カンファレンス	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師及び医療ソーシャルワーカーなどの専門職が、分野の枠組みなどを乗り越え、チームで一人の患者に対してベストな支援方法を話し合い、検討すること
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、霊魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした教育の拠点のこと
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者に対し高度な医療技術を提供する救急医療機関のこと
クリニカルパス（院内）	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すもの
健康寿命	介護や人の助けを借りずに起床、衣類の着脱、食事、入浴など普段の生活の動作が1人ででき、健康的な日常が送ることができる期間のこと
後発医薬品	新薬の独占的販売期間（有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間）が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。ジェネリックという。

個別化治療	患者の体質や病気の特徴にあった治療を行うこと
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと
サンキューレター	お礼の手紙のこと
三次救急医療	二次救急医療まででは対応できない重篤な疾患や多発外傷に対する医療のこと
集学的治療（がん）	がんに対し、より高い治療効果を得るため、外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、免疫療法等から二つ以上の治療方法を組み合わせて行う治療のこと
周産期医療	妊娠満22週から出生児満7日未満までを周産期といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現される。
周術期口腔ケア	手術を行う場合の口腔内のトラブル、誤嚥性肺炎、感染症の予防、化学療法や放射線治療を行う場合の口腔粘膜炎や口腔内感染等に対する口腔機能管理を実施すること
セカンドオピニオン	患者がより納得のいく治療を受けるため、診断結果や治療方針、方法等について、主治医以外の医師から意見を聞くこと
全人的医療	患者の病んでいる臓器だけではなく、あくまでも病をもった人間として包括的に見て行こうという医療本来のあるべき姿のこと
専門看護師、認定看護師	専門看護師は、日本看護協会の専門看護師認定審査に合格し、特定の専門分野において、卓越した看護実践能力を有すると認められた看護師のこと。認定看護師は、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有すると認められた看護師のこと
第一種、第二種感染症指定医療機関	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと
タスクシフティング	他者あるいは他職種に業務そのものを移管、委譲すること
地域医療構想	将来人口推計をもとに2025年に必要となる病床数を4つの医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携

	を進め、効率的な医療提供体制を実現する取り組みのこと
地域医療支援病院	地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関のこと。紹介患者に対する診療機能や実績等により都道府県が承認する。
地域完結型医療	地域の中で、それぞれの病院や診療所、クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供していこうというもの
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院
地域包括ケアシステム	団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制
地域連携クリニカルパス	ある疾患に罹患した患者を中心として、地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、お互いに情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者を支えてゆくための仕組み
治験	治療試験の略。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査をしたりするため、患者や健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者や健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいい、治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。
チーム医療	医療技術の進歩と高度医療の普及、患者中心の医療に対するニーズの高まりなどを背景に、医師、薬剤師、看護師などの各医療職の協力によるチームで行う医療のこと
トータルケア	肉体的な健康と精神的な健康の双方を対象として患者の治療を行うこと
特定健診	日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの公的医療保険加入者を対象に、保健指導の対象となるかどうかを判断しメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備軍を減少させることを目的として実施される健康診査のこと
二次救急医療	入院や手術を要する症例に対する医療であり、いくつかの病院が当番日を決めて救急医療を行う病院群輪番制や、共同利用型病院方式がある。
パンデミック	広範囲に及び感染症が流行すること
メディカルコントロール	傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士が実施する医行為に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの医行為の質を保証すること

免疫療法	免疫とは、体の中に侵入した異物を排除するための能力で、これを高めて行う治療のこと
薬剤管理指導	患者の薬歴管理と服薬指導を介して患者の薬物療法への認識を向上させ、また患者から得られた情報を医師等にフィードバックすることにより薬物療法を支援すること